



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2013.01.18

No.00733

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 01.18】

手続要覧 2010
ロータリー情報委員会

次回のプログラム

【通常例会 01.25】

クラブ協議会
クラブ会長幹事

1月の主な行事：ロータリー理解推進月間

第 732 回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長
 ローターソング：なし
 ゲ ス ト：なし
 ビ ジ タ ー：なし

会長報告：長友芳郎



■あけましておめでとうございます。新年を迎え新たな気持ちで後期を迎えようとしていますが、昨年末を機に経済状態が上向くかの雰囲気があり、微かな期待が感じさせられるような気も致します。このロータリー活動は日本が元気になり活気が出てこないと本来の活動にも影響が出てくるものと感じます。是非、政府の皆さま、この閉塞感のある日本から脱して頂きたいと切に願う次第であります。

幹事報告：川上 勉



■後期の年度を迎えました。この1月は各種の分担金を支払う必要があり、資金繰りに苦慮する月でもあります。事情ご高察の上早めの後期会費納入をお願い致します。

■1月25日はクラブ協議会⑤を開きます。中間事業報告については、遅くとも23日頃迄には提出をお願いします。尚、3月23-24日はPETSが開催されます。よって、次年度会長のPETS報告は3月29日に変更します。

■ハイライト米山154号をクラブ・ホームページに掲載しました。

■ロータリー財団より、グローバル補助金とパッケージ・グラントの申請をオンラインで行うことが可能となりました。

■1月のロータリーレートは1\$=82円です。

■藤代RC：1月14日(月曜日)は定款第6条第1節により休会します。尚、1月11日は中村文昭氏の講演会を取手市民会館で午後6時15分から開催します。題目は「俺たちのやる気スイッチオンにしようせ!!」です。

ロータリーの友



RI会長 田中 作次

「ロータリーの徽章を着ていれば、どこへ行っても、誰が見ても、私がロータリアンであることは一目瞭然です。それを目にした人がロータリアンであれば、私が友人だとわかるでしょう。徽章は、ロータリアン以外の人の目にも留まります。それらの人たちみんなに、この徽章の意味を理解して

ほしいと思っています」と会長は述べています。そして、「誰かにロータリーの徽章のことを尋ねられたら、すぐに答えられるようにしておきましょう」と公共イメージの向上に結びつけ、ロータリーの徽章について紹介しています。

■好奇心は人生の栄養 P2-6

作家 竹田真砂子

好奇心というのは生涯持ち続けるべきものだと思っています。大田南畝は大変なメモ魔で、片っ端からメモに残しております。これが彼の好奇心の成せる業なんですが、何でも面白かったのだと思います。

■ピンチを成長のバネとして P7-9

アイリスオーヤマ 代表取締役社長 大山健太郎職業を通じて会員個人を紹介します。今回は仙台ロータリークラブの会員です。

本日のプログラム

新年会に寄せて (Rotary Mottoの変遷)

■1910年08月

第1回全米RC年次大会(シカゴ)において、「He profits most who serves his fellows best」をシェルドンが発表。

■1911年08月

第2回全米RC年次大会(ポートランド)において、「He profits most who serves best」をシェルドンが発表。ロータリー宣言の結語として採択される。

■1911年08月:

第2回全米RC年次大会(ポートランド)において、「Service, not self」をコリンズが発表。これは、ミネアポリス・クラブの運営方針を述べたものである。

■1913年08月:

第4回全米RC年次大会(バッファロー)において、「He profits most who serves best」に関する講演を行う。

■1915年07月

第6回全米RC年次大会(サンフランシスコ)の国際RC連合会年次大会で「He profits most who serves best」と「Service, not self」のフレーズがガイ・ガンデカーの「ロータリー通解」に引用された。

※「Service, not self」は、自己を犠牲にして他人に奉仕する宗教的な意味合いが強く誤解されるので「Service above self」となったらしいが詳細は不明である。

■1921年03月

The Rotarian 3月号に「ロータリーの建設者」として、コリンズの追悼記事が載っており、「Service above self」の作者として紹介されていたらしい。

■1921年06月

第12回RIクラブ連合会年次大会(エジンバラ)でシェルドンはRotary Philosophyの中で「He profits most who serves best」の詳細な説明を行う。

■1950年06月

第41回RI年次大会(デトロイト)決議50-11で、「He profits most who serves best」と「Service above self」がロータリーモットーとして修正採択された。

■1976年02月

The Rotarian 2月号にシェルドンの「He profits most who serves best」の解説が掲載される。

■1977年02月

The Rotarian 2月号に「Service above self を我々に提供した فرانク・コリンズ」という記事が掲載される。

■1989年02月

規定審議会によって、決議案89-145「Service above self をRIの第一標語に定める件」が採択される。

■2001年07月

RI理事会にて「第二モットー He profits most who serves best を使用停止にする」ことが決定された。

※背景には規定審議案「01-678 すべてのロータリー用語から性に関する表現を削除することを理事会に要請す

る件」が採択されたことを受ける。

同時に決議23-34の文面からも「He profits most who serves best」の文章が抹消される事態となったが、日本人ロータリアンの抗議で11月に撤回された。

■2004年06月

規定審議会にて「He profits most who serves best」の廃止が提案されたが否決された。

※しかし、HeがTheyに変更される。その後、「歴史的重要な文書や声明は原文を尊重する」という日本からの提案によりHeが原文のまま残ることになったが、2004年11月、RI理事会は提案に従わないことを決定する。

■2005年02月

国際協議会において、2005-06ステンハマーRI会長エレクトはテーマとして「Service above self」を発表した。

※RI会長資料の中で、「1911年、ロータリーは、Service above self という標語を熱意を持って採択しました。それは、この標語が生まれたばかりの組織が発展の途上にある中、その理想を巧みに言い表しているからです。それから95年間、この標語は、私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となってきました。来る年度、全てのロータリアンに、Service above self の真の意味をじっくり考えて頂く機会が与えられます。」と述べられた。

しかし、1911年にフランク・コリンズが述べた言葉は、Service, not self であって、Service above self ではない。また、コリンズがService, not self を述べた真意は、人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機ではないことは、スピーチ原稿を熟読すれば明白である。

田中毅氏炉辺談話集より



■出席状況

会 員	16 名	出席率	68.75 %
出 席 者	6 名		
出席免除者	2 名	Make-up	5 名
定款第9条3節a	1 名		

■ニコニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 3 件 7,000 円 (本年度累計 249,000 円)

長友会員: 明けましておめでとうございます。

川上会員: 本年も引き続き宜しくお願い致します。

横山会員: 今年もよろしくお願い致します。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに 城出 SAA
TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。